

個人情報の漏えいについて

標記の件について、下記のとおり、報告いたします。

記

1 事故の概要

市外の幼稚園6園に対し、それぞれの園ごとの2022年度の補助金等に係るデータを電子メールにて送信しようとしたところ、誤って他園に在籍する児童の情報を含むデータ※1（私学助成幼稚園1,939名分）も併せて当該幼稚園に送信したことで、個人情報が漏えいしました。

※1 データに含まれる項目：園名、児童カナ氏名、児童漢字氏名、生年月日、クラス、補助対象経費、施設等利用費、保護者補助金

2 経緯

2023年4月13日

補助金等に係るデータを市外幼稚園6園に電子メールで送信しました。

2023年4月14日

当該幼稚園の1園から、送信したデータについて問い合わせがあったことにより、他園に在籍する児童のデータが含まれて送信されていたことが判明しました。

3 原因

対象園の在籍児童に限ったデータを送付すべきところ、他園の在籍児童の情報を含むデータまで誤って添付してしまいました。あわせて、メール送信前に、決裁者が、送信内容の確認を怠ったことによるものです。

4 対応状況

① ファイル転送システム及び市外の幼稚園6園への対応

2023年4月14日

1園は送信を取消し、ダウンロード済みの5園については送信したデータの再ダウンロードを停止した。問い合わせのあった幼稚園を含め、既にダウンロード済みの幼稚園5園については、本来送信すべきでなかったデータを誤送信したことを説明し、謝罪しました。

また、送信済みデータの削除を依頼し、各園において削除が完了したとの報告を受けています。

② 本件の周知に係る対応

2023年4月17日

市内の私学助成幼稚園等へ事故報告及びプレスリリースを行いました。

2023年4月19日

国の個人情報保護委員会へ市政情報課を通じて報告を行いました。

2023年4月20日

私学助成幼稚園の保護者様宛に、文書にて謝罪し、いきさつを説明した。

5 再発防止対策

それぞれの園の在籍児童に限ったデータと、他園に在籍する児童の情報を含むデータの管理を徹底するとともに、データにパスワードを設定することを徹底します。また、メール作成時及びメール送付時の決裁者の確認時に、適切なデータが添付されているかを改めて確認するよう、周知徹底します。